

「外国人として熊本の生活や日本について」

熊本大学大学院先端機構（HIGO プログラム）特任助教
ネパール出身 Hari Devkota

こんにちは。ナマステ。

ネパール出身の Hari Devkota（ハリ・デブコタ）です。

私は2007年10月に国費留学生として、熊本大学大学院薬学教育部に入学しました。今年で9年目になります。長いように思えますが、昨日のこのように感じています。現在、熊本大学大学院先端機構（HIGOプログラム）で特任助教として働いています。

留学してすぐは日本語が全くわからず、いろいろ困りました。熊本大学の先生方や友達、熊本市国際交流振興事業団（K I F）の先生方に日本語を教えてくださいいただきました。半年ほど経つとコミュニケーションが取れるようになってきて、日本での生活が楽しくなりました。

現在、熊本生まれの息子2人（写真1）と妻の4人で楽しく生活しています。熊本に来てから驚いたことがたくさんあります。1つ目は熊本市の医療の素晴らしさです。出産や検査のときにお世話になったのですが、医療施設や医療制度などが整っており、とても助かりました。2つ目は熊本の治安の良さです。子どもたちを育てていくのに安全に生活できることを嬉しく思います。私が研究などで夜遅くなって帰るときも安心です。また、熊本に住んでいる方々がとても優しくて親切なので、ネパール以外で住む場所を選ぶなら、日本を選び、その中でも熊本を選ぶと思います。



（写真1）
《2人の息子達》
右側：アユス
左側：アビス

私が生まれたネパールの村は、ヒマラヤ山脈がキレイに見えるところにあります（写真2）。熊本のよ
うな海や火山はありませんでしたので、家族と天草
や阿蘇などに行くことが楽しみです（写真3）。熊本
は熊本城や水前寺公園、きれいな景色や美味しいも
のがたくさんあって良い所だと思います。



（写真2）
《ネパール西部のポカラ市からの景色》

熊本は9年前に比べて、外国の方も住みやすくなりました。ただ、言葉の壁がまだあるように感じる
ので、ここが改善されるとさらに外国の方にとっ
ても親しみやすくなると思います。お互いに、英語、
日本語等をはじめとした各国の言語を学び、理解し、
そしてその背景にあるそれぞれの異なる民族・文
化・歴史を知ること、によりよい関係を作れると思
います。

私が日本に滞在しているときに東日本大震災もあり、地震が大変なものであることがわかりました。また、今年の4月25日にネパールでも大きな地震があった際に、熊本の人達からたくさんの寄付や援助をしていただき、心より感謝申し上げます。

これから先もしばらく熊本に滞在する予定なので、機会がありましたらよろしくお願いします。ネパールも良いところなので一度訪れていただけると幸いです。



（写真3）
《俵山での家族写真》